

頭あたまが ずきずきと いたむ。せきが、ゴホゴホ
出てくる。ふとんから おきあがると、頭あたまが く
らくらする。

今日きょうは たのしみをしていた えん足えんそく だった
のに、どうやら かぜを 引ひいてしまったようで
す。

ぼくは、ふとんの中なかで ししくしく 泣なきました。
すると、お母かあさんが へやに 入はいってきて

「なにくよくよ してるの。早くはや なおしなさい」と言いいました。

そんなこと言いわれても、えん足えんそくに行くことはでき
ないと 思おもいつつ、「うん、早くはやなおすよ」と ぼく
は しよんぼり へんじを しました。

① くよくよしてる「ぼく」の きもちとして あっているものに
○をつけましょう。

ア 体たいちようが わるくて ずっと ふとんで ねていたいとお
もっている

イ かぜを ひいて えん足えんそくに いけなくなったことを ずっと
かなしんでいる

② しよんぼりの いみとして あっているものに ○をつけましょう。

ア 元げん気がなく・さびしそうに

イ まよいながら

③ 体たいちようが わるいようすを あらわす 4文字もじの 言葉ことばを
3つ 文ぶんしよう中ちゆうから 書かき出だしなさい。

頭あたまが

せきが

頭あたまが

[] [] []